

自分で決めて、やってみる!

～“たくましさ”と“しなやかさ”をもった「学び」の当事者となるために～

統括校長 所 水奈

朝夕の涼しさと鳴く虫の声に秋が次第に深まっていることを実感する今日この頃です。

先週は、道徳授業地区公開講座にお越しくださり、ありがとうございました。授業での子どもたちの言葉や姿、本校 元教職員の庄子 寛之先生の御講演から、子どもたちの「心」について改めて考える機会となったのではないのでしょうか。特に、庄子先生の御講演では、「子どもたちの心を育むには、まず自分(親)から。親が幸せならば、子どもも幸せ。『まあ、いいか。』と自分を許せるように。」とお言葉がありました。大人もまた“しなやかに”生きていくことが求められるのだと気付かされました。

さて、その未来に生きる子どもたちに求められる「力」を育むためのキーワードの一つに「探究」があります。探究とは「自ら問いを見だし、考え、判断し、表現する学びの在り方」で、子どもが自ら学びを進める・学び続けていくことを目指しています。この自ら学びを進める・学び続けていくことは全国的な課題であり、本校の子どもたちも同様です。だからこそ、次期学習指導要領のポイントともなっています。

そこで、本校では「自分で決めて、やってみる!」を研究テーマとして、授業をデザインし直すこととしました。

例えば、5年生の授業です。総合的な学習の時間で



【Myプロジェクトで稲の害虫探し】

「米」を中心に、子ども一人一人が問いをもち、その問いから生まれた課題を解決するために、様々な方法で取り組んでいます。「お米の特ちょう

に合った料理はなんだろう。」「お米の成分は何か?」「米のとぎ汁の使い道を調べたい。」「品種改良に挑戦したい。」などと、課題は一人一人異なります。そして、その解決の仕方も一人で進めたり、同じような課題の友達とグループで行ったり…。更に、まとめ方についても劇だったりボードゲームだったり千差万別です。(なんと!!今月の給食には、5年生発案の献立も登場します。)子どもたちが自分の「やりたいこと」を自分で「決めて」取り組んでいる姿には「時間がいくらあっても足りない!」という勢いがあります。また、失敗しても「次はこうする!」と自らを変える姿に柔らかな強さも感じます。

基礎・基本の力に、自ら学びを進めていく・学び続けていく力が加わることで、どんな困難な場面に直面しても“たくましく”“しなやかに”乗り越えていく…。子どもたちのこれからの姿が垣間見え、頼もしい限りです。とはいえ、これらの取組は未だスタートの段階です。子どもの学びに向かう姿をしっかりと受け止め、一人一人のより充実した学びを支え、伴走する教師の在り方や授業づくりに力を尽くします。



【土に着目!植物がより成長するには?】

10月は大きな行事・運動会があります。多くの学年が「実行委員会」を設け、子どもたちのアイデアを生かした子ども自らが“創る”主体的な取組へとつなげています。これらの取組にも「自分で決めて、やってみる!」場面が幾度となくあることでしょう。そんな子どもたちの決断や挑戦を後押しできるよう、全教職員で子どもたちを支えてまいります。一方、練習等により、疲れやすい時期でもあります。御家庭での健康管理や心のケア等、よろしくお願いいたします。



拍江市教育委員会
「コミュニティ・スクール通信」

10月の生活指導 すすんで仕事をしよう!

学校という社会の中で、子どもたちは発達段階に応じて、様々な仕事を行っています。どんなに小さな仕事でも、責任をもって続けることには大きな意義があります。そしてそれは、友達や社会の役に立ち、人に喜んでもらうことにつながります。子どもたちが社会に貢献する喜びを少しでも感じ、達成感を得られるよう、一人一人の頑張りや努力を見守り、認め、感謝を伝えていきます。10月は自分の役割に責任をもって取り組む力を一層重視し、指導・助言を行ってまいります。